

シートベルト 全席着用の徹底

全ての道路で
義務化



後部座席でシートベルトを着用せずに交通事故に遭ってしまうと…

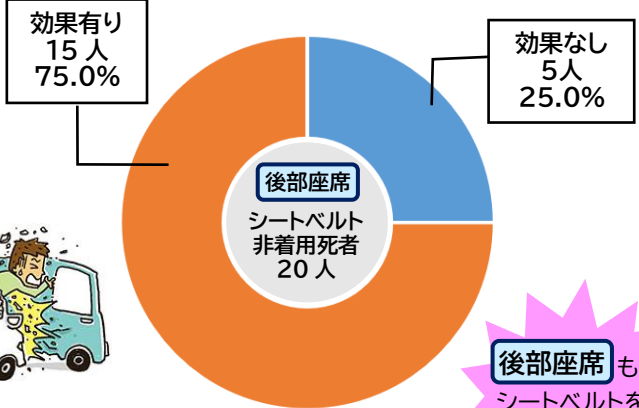
車外放出の危険

衝突の勢いが激しい場合、後席から車外に放出される可能性があります。車外に放出されると、

- ・道路にたたきつけられる
- ・後続車にひかれる
- ・横転もしくは転覆した自車と路面の間に挟まれる

場合があり、最悪の場合は命を落としてしまう恐れがあります。

後部座席シートベルト非着用死者に関する効果の有無【H31.-R.5】



後部座席もシートベルトを！

【注】効果有りは着用していれば助かったと思われる人

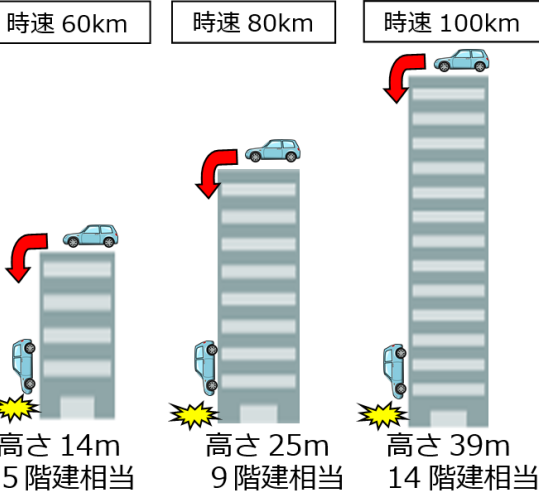
前席の同乗者に致命傷

衝突の勢いで後席の人が前方に投げ出されると、身体が凶器になって同乗者(特に前席)の命を奪うこともあります。



(イラスト:政府広報オンライン)

事故の衝撃は 思いのほか大きい



速度によって、上図のビルの高さから落下したことと同じ程度の衝撃を受けます。また、正面衝突した場合、体重の30倍の力で前に飛び出します。

シートベルト・チャイルドシートの着用率

チャイルドシート
着用率 (6歳未満)
94.3%

一般道であっても、**後部座席**の同乗者には、シートベルト着用の義務があります！



後部座席同乗者
着用率 46.5%

運転席
着用率
99.2%

助手席同乗者
着用率 96.8%

※シートベルトの着用率及びチャイルドシートの着用率は、2023年に警察庁・JAFが県内の一般道路で調査した結果です。